



おいしいそば味わって

**そ** ば店14店舗で組織する大石田そば街道振興会（海藤仁会長）の会員が2月20日（水）に水明苑を訪れ、利用者と職員に打ちたて茹でたてのそばを振舞いました。これは振興会が美味しいそばを味わってもらおうと毎年行っているもので、会員らは利用者が集まる中でそば打ちを実演しました。また、利用者のそば打ち体験もあり、会員らが「いい手つきだ」などと励ましながら「こね、のし、きり」の作業を行い、作業が終わると見守っていた利用者や職員から拍手が送られていました。その後、茹でたてのそばが振舞われ、利用者らが美味しそうに味わっていました。

親子でかもしか修了式

**か** もしかクラブの修了式と親子読書活動「親と子のつどい」が2月22日（金）に虹のプラザ多目的ホールで開催されました。かもしかクラブ修了式では、町内3つの保育園の年長児40名に横山利一副町長から修了証とランドセルカバー、防犯ブザーが贈られました。その後、村山総合支庁の職員が交通安全を啓発する手作りの大型紙芝居の読み聞かせを行い、最後に道路横断時のお約束「ストップの約束」を園児全員で再確認しました。引き続き行われた親と子のつどいでは、大型絵本の読み聞かせやピアノの演奏に合わせたリズム遊び、人形劇の上演などが行われ、親子で触れ合いながら楽しんでいました。



いきいき元気に福祉のつどい

**い** きいき大石田福祉のつどいが2月24日（日）に虹のプラザ多目的ホールで行われました。開会行事では老人クラブ活動に尽力された方々への町社会福祉協議会会長表彰が行われました。その後「いきいき大石田芸能演芸会」が行われて、大正琴や合唱、腹話術に寸劇など、各地区老人クラブや町健康推進員などが趣向を凝らした出し物を次々と披露しました。さらに、アトラクションとして大石田唱和会、エコミュージック、大石田町民謡研究会による歌と踊りのステージが行われ、会場を盛り上げていました。



美しいハーモニーで魅了

**お** おいしだふれあいコンサートが虹のプラザ多目的ホールで3月10日（日）に開かれました。昨年に続き2回目の開催で、2部構成の第1部では町で活動する「コーラス虹」と、昨年のコンサート後に結成された「大石田で合唱を楽しむ会」、尾花沢市の「尾花沢混声合唱団」による合唱が披露されました。第2部は、声楽家の佐藤登さん・知里さん夫妻（本町）ら大石田町・尾花沢市在住の音楽家によるステージで、客席からは1曲ごとに盛んな拍手が送られていました。コンサートの最後には全ての出演者がステージに集合し、観客とともに「ふるさと」の合唱が行われコンサートを締めくくりました。



米粉使ったスイーツづくり

**ふ** たば児童センターで2月25日（月）に料理教室が開催され、町内外の16名が米粉を使ったスイーツづくりに挑戦しました。教室は来迎寺地区で米粉パン店「あおいそら」を営む鮎川ゆきさんが講師となり、米粉の生地で作るクレープの間にクリームとイチゴをはさんで重ねるミルクレープづくりが行われました。鮎川さんは米粉の普及のため料理教室を開いていて、参加者らに米粉の生地は小麦粉と違ってダマになりにくいなど特徴を紹介しながら作業について指導しました。参加者の一人は「思っていたよりも難しくなかったので、春休みに子どもと一緒に作りたい」と話していました。



町の農業を話し合う

**町** の農業振興について話し合う農事座談会が2月16日（土）、17日（日）に虹のプラザ中会議室で開催され、農業者や集荷団体、それに行政の関係者約100人が参加して今年の米の作付け方針や園芸作物の振興について意見を交わしました。国による米の生産数量目標配分が廃止されて2年目となる今年の座談会では、それぞれの立場から積極的な意見が出され参加者全体で昨年に引き続き、需要に応じたコメ生産に取り組むことの重要性を再確認しました。また、園芸作物の分野では特産のすいかの生産に加えて、里芋やかぼちゃなど新たな需要を見越した作物の生産について活発な議論が交わされていました。

